



JASDAQ

平成 26 年 3 月 14 日

各 位



会 社 名 株式会社アイレックス
代表者名 代表取締役社長 畑 徹
(JASDAQ・コード 6944)
問合せ先
常務取締役 管理本部長 榎 恒久
電話 03-3245-2011

不適切な会計処理に対する再発防止強化対策に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 6 月の前回の第三者委員会の調査報告書を受け、経営陣の刷新、業務管理機能の抜本的強化、コンプライアンス遵守の徹底等の改善対策に取り組んでまいりましたが、平成 25 年 11 月に発覚した過年度の不適切な会計処理の調査を実施するため、同月、改めて第三者委員会を立ち上げ、徹底調査を行いました。その結果、過年度の会計処理について、二度目の訂正を行う事態となりました。投資家の皆様をはじめ利害関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

今回発覚いたしました不適切な会計処理に関し、平成 26 年 3 月 7 日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」で公表しました第三者委員会の報告書の提言を受け、これまで実施してきました再発防止策を見直し、更に強化すべき対策として、再発防止強化対策を下記の通り、策定いたしました。今後、下記の再発防止強化対策を確実に実施し、二度とこのようなことを起こさないよう、再発防止に取り組んでまいります。

記

1. 第三者委員会からの再発防止策の提言内容

第三者委員会より提言頂いた再発防止策は、下記の通りです。

- (1) コーポレート・ガバナンス強化
 - ① 取締役会の監視機能の回復
 - ② 監査役及び監査役会の監視機能の実質化
 - ③ 経営改革推進室の設置
- (2) コンプライアンス態勢構築・強化
 - ① コンプライアンス教育
 - ② 経営者によるコンプライアンス重視の姿勢
 - ③ 内部通報制度の充実
 - ④ コンプライアンス強化を目的とした専門部署の設置
- (3) 業務プロセス等における有効な再発防止策
 - ① 勤務記録の管理
 - ② 財務会計データの精度の向上と有効活用
 - ③ 経理部人員の増員
 - ④ 予算の精度の向上
 - ⑤ 内部監査室による監視の強化

2. 再発防止強化対策

当社は、第三者委員会のご指摘を真摯に受け止め、改善委員会で検討を行った結果、以下の再発防止強化対策を実施することといたしました。

I. コーポレート・ガバナンス強化

1) 取締役会の監視機能の回復

① 社外取締役の選任

独立性が高くかつコンプライアンスの知識及びその重要性の理解を有する有識者を社外取締役に選任することにより、取締役会での議論の充実を図るとともに、経営の意思決定にチェック機能をもたらすよう努めます。

② 取締役会が取締役の業務執行について十分な監視機能を果たせるよう、各取締役の業務上の権限及び取締役会の審議事項の内容を再度見直し、明確化、充実を図ります。

2) 監査役及び監査役会の監視機能の実質化

① 監査役会の開催頻度を増やすとともに、より実効的な監査役機能を果たすため、監査役には、システム部門、営業部門で開催する営業会議等の実務者レベルでの会議体への出席を要請します。

② 監査役会による取締役の業務執行の監視機能を果たすために、定期的に監査役会主導の会議体を開催し、その時々が必要に応じ、代表取締役社長等の参加を求め、内在するリスクを監視し、監査役会でも協議し、適時取締役会に報告するとともに、実施状況の報告を求めるよう改善します。

③ 内部監査室及び新設する経営改革推進室と連携し、問題点等の共有化、検討、問題解決への提案も含めた積極的な改善提案等までできるよう機能の強化を図ります。

3) 経営改革推進室の設置

① 内外の事業環境分析から経営計画（予算作成から営業、人材戦略まで含む）の策定・推進までをこなす部署として経営改革推進室を新設します。

② コンプライアンス推進機能を持たせ、社員および役員へのコンプライアンス研修の立案と対策実行の推進、内部通報制度を徹底するための対策立案と推進を実施します。

③ 経理部、業務管理部、人事総務部と事業部門の業務執行状況を把握し、内部統制の視点から、改善対策を立案し、社長の指示のもと、会社全体の改善対策実行を推進します。

II. コンプライアンス態勢構築・強化

1) コンプライアンス教育

① これまで実施してきた研修を見直し、取締役を含む社員の各階層及び各業務に即した更に実効性のあるコンプライアンス教育・研修を実施します。

② 自社の業務内容に沿った形で適切な業務プロセス及び具体的な会計知識を習得させるため、各職種に応じた研修体系の構築について検討し、実施します。

③ 本社役職員が各拠点での担当者の会議に参加し、行動規範解説書を配布し、コンプライアンス教育を行います。また、コンプライアンス意識の啓蒙のためのポスター掲示等の啓蒙活動を実施します。

2) 経営者によるコンプライアンス重視の姿勢

① 経営陣が各拠点を巡回し、コンプライアンスの遵守のメッセージを直接伝えるとともに、上司の命令に反してもコンプライアンスを守って行動した従業員は必ず身分が保

護される旨の宣言を行います。

3) 内部通報制度の充実

- ① 当社では、通報窓口を設置するとともに社員に周知しておりましたが、これまで通報の実績はありませんでした。今後は、通報者に決して不利益が課されないことを経営者から定期的に宣言し、社員が安心して利用できるような環境づくりに努めます。
- ② 内部通報を利用しやすい環境とするため、通報窓口を自社と弁護士だけではなく、親グループ会社のコンプライアンス専用窓口を選択肢に加え、社員に周知します。

4) コンプライアンス強化を目的とする専門部署の設置

- ① コンプライアンス推進・啓蒙の機能を経営改革推進室に持たせ、コンプライアンス強化策の推進や各制度の実効性までをモニタリングする等、計画的な推進体制及び監視機能の強化を図ります。

III. 業務プロセス等における有効な再発防止策

1) 勤務記録の管理

- ① 平成 25 年第 1 四半期から、勤務記録の記入、訂正について、本人の自筆サインと押印を必須として勤務表改竄ができないように対策しておりますが、更に、勤務記録に記載されるプロジェクトコードの記入の正確性強化の観点から、現場の作業担当者が記入すべきプロジェクトコードを全社で一元管理し、稼働中プロジェクト一覧表として開示し、各作業担当者に対して、当該一覧表を使用して記入させるように改善します。
- ② また、担当者が記入したプロジェクトコードに誤りが無いことを検証するため、稼働中プロジェクト一覧表と、勤務表記載内容の突合作業を行います。

2) 財務会計データの精度の向上と有効活用

- ① プロジェクト管理、経理データの整合性確保及び情報の一元管理を、更に徹底するために、現状における問題点を抽出するとともに、経営・管理の観点からの必要情報の洗い出しを行い、必要情報を正確に入手できるよう対策立案と対策実行を行い、財務データの精度向上と有効利用を図ります。

3) 経理部人員の増員

- ① 経理部門の人員を増員強化し、各部署から提出される経理基礎資料の適切性に目を光らせ、各部門への管理機能の強化を図ります。

4) 予算の精度の向上

- ① 財務データの有効活用のため、必要な会計情報の見直しを行い、経営に資するデータ管理の再構築を実施します。
- ② 原価計算方法の見直し、経費発生の見直し、月次分析の強化を行い、異常な点については、担当責任者へのヒアリング確認等を行うことにより牽制を図ります。
- ③ 内外の事業環境等の情報収集、分析等につきましては、経営改革推進室で実施いたします。

5) 内部監査室による監視の強化

- ① 内部監査強化のために、専従者を確保します。
- ② 内部監査室の業務内容、実施手続きの見直しを行い、これまでの形式的なチェックから、現地を訪問してのヒアリング、証憑突合等に重点を置いた手続きへの移行、さらに不適切な行為や業務プロセスの不備の発見、是正に主眼を置いた業務遂行をさらに

加速推進いたします。

- ③ 監査役、経営改革推進室との連携を深め、内部監査機能の強化を図ります。

当社は、この度の過年度の不適切な会計処理を未然に防止することができず、投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご心配とご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳なく存じております。

今後はコンプライアンスを更に徹底し、当社の役職員が一丸となって信頼回復に取り組む所存でございます。何卒ご理解を頂きまして、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上